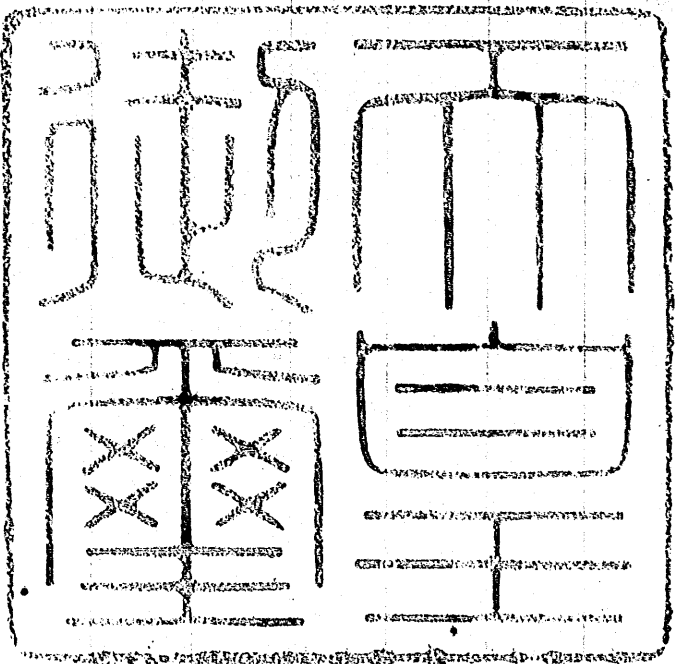


勅令第四百七十五号

朕一年志願兵條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

吉田仁



大正八年十一月二十六日

内閣總理大臣 原 正
陸軍大臣 田中義一

勅令第四百七十五號
一年志願兵條例

第一章 總則

第一條 一年志願兵ノ屬スル兵科部ハ
軍事上ノ必要ニ依リ陸軍大臣之ヲ定
ム但シ本人ノ希望ヲ參酌スルコトヲ
得

第二條 一年志願兵ヲムトスル者ニ
シテ陸軍豫備役後備役將校相當官タ
ルノ希望ヲ有スルモノハ左ノ區分ニ

依り各主計生、軍醫生、藥劑生又ハ獸醫
生ヲ志願スルコトヲ得

一 主計生 法律、經濟又ハ商業ニ關
スル學科ヲ教授スル專門學校
又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒
業シタル者

二 軍醫生 醫師免許證ヲ有シ又ハ
之ヲ受クヘキ資格アル者

三 藥劑生 藥劑師免狀ヲ有シ又ハ
之ヲ受クヘキ資格アル者

四 獸醫生 獸醫免狀ヲ有シ又ハ之
ヲ受クヘキ資格アル者

主計生、軍醫生、藥劑生又ハ獸醫生ノ採
用人員ハ軍事上ノ必要ニ依リ陸軍大
臣之ヲ定ム

第三條 一年志願兵タルトスル者ノ
身體検査ニ關スル事項ハ陸軍大臣之
ヲ定ム

第四條 左ニ掲クル事項ノ裁決ハ聯隊
區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ為ス

一 一年志願兵タラムトスル者ノ願
出

二 一年志願兵トシテ服役スヘキ者
ノ入營延期

第五條 一年志願兵トシテ服役スヘキ
者ハ本人ノ入營ニ因リ其ノ家族自活
シ能ハサルニ至ルヘキ場合ヲ除クノ
外情願ヲ以テ其ノ服役ヲ免除セス

第二章 費用

第六條 一年志願兵ノ服役ニ關スル費

用ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ
納付セシム

第七條 一年志願兵ニハ給料入營旅費
及歸郷旅費ヲ給セス

第八條 一年志願兵ニハ所屬隊ニ於テ
糧食及彈藥ヲ供給シ兵器被服等ヲ貸
與ス

第九條 第三十條ノ規定ニ依リ通常ノ
現役勤務ニ服セシムル場合ニ於テハ
階級相當ノ給料及服役ニ關スル費用

ヲ官給ス

第三章 入營

第十條 一年志願兵ノ入營期日ハ毎年十二月一日トス但シ陸軍大臣ハ其ノ定ムル所ニ依リ歩兵隊ニ於テ服役スル者ノ入營期日ヲ四月一日ト為スコトヲ得

第十一條 一年志願兵トシテ入營スヘキ者ニシテ傷疾疾病其ノ他ノ事故ニ因リ前條ノ入營期日ニ入營シ難キモ

ノニ付テハ其ノ月ノ末日迄ニ於テ其ノ入營期日ヲ指定スルコトヲ得

第十二條 陸軍大臣ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要ノ場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ル入營期日ヲ變更スルコトヲ得

第十三條 陸軍大臣ハ其ノ定ムル所ニ依リ一年志願兵トシテ入營スヘキ者入營ニ際シ已ムヲ得サル事故アル場合ニ於テ前三條ノ規定ニ依ル入營期

日ノ後十日内其ノ入營期日ヲ延期ス
ルコトヲ得

第十四條 第十一條ニ規定スル事故ニ
因リ入營ノ月ノ末日迄ニ入營シ難キ
者ハ逐次次期又ハ次年ニ入營セシム

第四章 進級及教育

第十五條 一年志願兵ハ入營後概ネ四
月ノ後之ニ一等卒ヲ概ネ六月ノ後之
ニ上等兵ヲ命シ概ネ九月ノ後之ヲ伍
長主計生ニ在リテハ三等計手、軍醫、生
及藥劑生ニ在リテハ三等計手、護長、獸

醫生ニ在リテハ三等計手、護長、獸
蹄鐵ニ在リテハ三等計手、護長、獸階級ニ進ム

第十六條 前條ノ規定ニ依リ上等兵ヲ
命セラレタル者第二條ノ規定ニ該當
スルモノナルトキハ之ニ主計生、軍醫
生、藥劑生又ハ獸醫生ヲ命ス但シ戰時
又ハ事變ニ際シテハ一等卒ヲ命セラ
レタル者ニ之ヲ命スルコトヲ得

第十七條 一年志願兵ニ對シテハ一般
教育ノ外其ノ所屬ノ兵科部ノ本務ニ
關スル下士及士官ノ勤務ニ付特別教

育ヲ行フ

第十八條 主計生、軍醫生、藥劑生又ハ獸
醫生ノ本務ニ關スル教育ニ付テハ陸
軍大臣之ヲ定ム

第十九條 一年志願兵第三十二條ノ規
定ニ該當スル者

ヲ除ニ對シテハ陸軍大臣ノ定ムル所

ニ依リ現役満期前終末試験ヲ施行ス

第二十條 前條ノ規定ニ依リ終末試験

ヲ受ケタル者ニ付テハ其ノ學科及術

科ノ成績ト平素ニ於ケル勤務ノ成績

トヲ參酌シテ及落ヲ決定シ及第者ハ

豫備役編入ノ際之ヲ各兵科ノ者ニ在

リテハ軍曹ニ主計生ニ在リテハ二等

計手ニ軍醫生又ハ藥劑生ニ在リテハ

二等看護長ニ獸醫生ニ在リテハ二等

蹄鐵工長ニ任ス及第セサル者ハ豫備

役編入ノ際之ヲ各兵科ノ者ニ在リテ

ハ伍長ニ主計生ニ在リテハ三等計手

ニ軍醫生又ハ藥劑生ニ在リテハ三等

看護長ニ獸醫生ニ在リテハ三等蹄鐵

工長ニ任ス

第二十一條 傷疾疾病等ニ因リ終末試験ヲ受ケサル者又ハ第二十八條若ハ第二十九條ノ規定ニ依リ豫備役ニ編入セラルル者主計生軍醫生藥劑生又ハ獸醫生ナルトキハ之ヲ免シ伍長同相當官ノ階級ニ在ルモノナルトキハ前條ノ規定ニ準シ之ヲ伍長同相當官ニ任ス

第五章 服役

第二十二條 一年志願兵ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ本籍地ノ師管内ノ軍隊ニ於テ服役セシム但シ軍事上其ノ他ノ必要ニ依リ他ノ師管内ノ軍隊ニ於テ服役セシムルコトヲ得朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ滿洲ニ在ル者ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ地附近ノ軍隊ニ於テ服役セシムルコトヲ得

第二十三條 第二條ノ規定ニ依リ主計

生、軍醫生又ハ藥劑生ト為スヘキ者ハ
步兵隊ニ、獸醫生ト為スヘキ者ハ騎兵
隊砲兵隊又ハ輜重兵隊ニ於テ服役セ
シム

第二十四條 一年志願兵ハ營内ニ居住
セシム

第二十五條 一年志願兵ノ現役年期ハ
第十條ノ入營期日ヨリ之ヲ起算ス
陸軍大臣ハ第十二條ノ規定ニ依リ入
營期日ヲ變更シタル場合ニ於テ現役

年期ノ起算ノ日ヲ變更スルコトヲ得

第二十六條 一年志願兵ハ第二十八條又

ハ規定ニ該當ノ現役ヲ終リタル者ハ
現役満期後六年四月豫備役ニ、豫備役
満期後十年後備役ニ服セシム

第二十七條 第二十八條又ハ第二十九

條ノ規定ニ依リ豫備役又ハ補充兵役
ニ編入セラレタル者ノ服役期間ニ關
シテハ左ノ各號ニ依ル

一 豫備役ニ編入セラレタル者ハ現

役年期ノ起算ノ日ヨリ起算シテ
七年四月ニ満ツル迄豫備役ニ豫
備役満期後十年後備役ニ服セシ
ム

二 補充兵役ニ編入セラレタル者ハ
現役年期ノ起算ノ日ヨリ起算シ
テ十二年四月ニ満ツル迄ニ服
セシム

第二十八條 一年志願兵現役中本人ニ
依ルニ非サレハ其ノ家族自治シ能ハ

サル事故生シタルトキハ願ニ依リ其
ノ現役ヲ免スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ現役ヲ免セラレタ
ル者ニシテ教育ヲ受クルコト三月ニ
満タサルモノハ補充兵役ニ其ノ他ノ
モノハ豫備役ニ編入ス

第二十九條 一年志願兵現役中傷疾疾
病ニ因リ現役ニ堪ヘサルトキハ現役
ヲ免シ左ノ區分ニ依リ服役セシム
一 教育ヲ受クルコト三月ニ満タサ

ル者ハ補充兵役ニ編入ス但シ補
 充兵役ニ堪ヘサルモノハ補充兵
 役ヲ免シ第一國民兵役ニ編入ス
 二 教育ヲ受クルコト三月以上ノ者
 ハ豫備役ニ編入ス但シ豫備役後
 備役ニ堪ヘサルモノハ豫備役後
 備役ヲ免シ第一國民兵役ニ編入
 ス
 三 永久兵役ニ堪ヘサル者ハ兵役ヲ
 免ス

第三十條 陸軍大臣ハ戰時又ハ事變ニ
 際シ必要アルトキハ一年志願兵ヲシ
 テ第十七條ノ規定ニ拘ラス通常ノ現
 役勤務ニ服セシムルコトヲ得

第六章 雜則

第三十一條 第十九條ノ規定ニ依リ終
 末試験ヲ受クヘキ者傷痍疾病等ニ因
 リ終末試験ヲ受ケサルトキハ現役満
 期後一年内ニ終末試験ヲ受クルコト
 ヲ得

前項ノ規定ニ依リ終末試験ヲ受ケタ
ル者ニ付テハ第二十條ノ規定ヲ準用
ス

第三十二條 一年志願兵左ノ各號ノ一

ニ該當スルトキハ之ヲ二等卒ト為シ

一年志願兵ノ特別教育ヲ行ハス

一 怠慢ニシテ勤務ヲ習得セサル者

又ハ習得ノ見込ナキ者

二 軍紀ヲ紊リ、法則ヲ犯シ又ハ品行

不正ニシテ改悛ノ見込ナキ者

第三十三條 本令ニ規定スルモノノ外

一年志願兵ト為リタル者ノ任官ニ關

シテハ陸軍補充令ニ其ノ服役ニ關シ

テハ陸軍軍人服役令ニ依ル

附則

本令ハ大正八年十二月一日ヨリ之ヲ施
行ス

陸軍一年志願兵條例ハ之ヲ廢止ス

第十條但書ノ規定ハ大正十年四月一日

以後入營ノ者ニ之ヲ適用ス

本令施行前一年志願兵ノ現役ヲ終リ
ル者ノ服役ハ仍従前ノ規定ニ依ル